

支部だより

北海道遠紋地区支部

令和元年春季・特別・秋季善行表彰受賞者合同祝賀会の開催

令和元年度、春季・秋季善行表彰者合同祝賀会が十二月七日午後四時よりホテルサンシャインにおいて、春季・特別・秋季善行受賞者十六名、来賓、支部会員、受賞関係者(計百二十二名)参加のもと盛大に開催されました。はじめに、秋季善行表



彰受賞者の四団体、十人の方々へ賞状、善行章等の伝達が行われ、その後、春季・特別善行表彰(銀章)も含めて花束の贈呈が行われました。続いて遠紋地区支部長の挨拶、来賓として武部新衆議員、新沼透北海道議会議員、久保秋雄太北海道議会議員の祝辞の後、勝野堅介日本善行会会長、黒澤猛常務理事や北海道各支部からの祝電披露があり、受賞者を代表して社会福祉への貢献で受賞した成田弘明さんから「奉仕を継続することができたのは家族や仲間の協力のおかげ」との謝辞がありました。河原英男遠軽町教育委員会教育長による祝宴の乾杯に続いて、余興では受賞者の柴田雅寿さんと谷藤紅山支部事務局局長から、祝賀会を祝う箏と尺八の「花吹雪」の演奏があり、続いて七人の歌声のご披露もありました。結びに、畑山研二興部町教育委員会教育長よ

り、「善行活動の推進に頑張ってください」というメッセージのあと、万歳三唱で有意義な祝賀会を閉幕いたしました。

群馬県北毛支部

秋季善行表彰伝達式・祝賀会の開催と児童養護施設への餅つき慰問の実施

去る十二月一日(日)午後六時から、伊香保温泉千明仁泉亭に、北毛支部から推薦し、秋季善行表彰を受賞された団体一名、個人十二名及び秋篠宮皇嗣殿下の御接見の栄に浴した十名をお招きして、会員五十一名の出席のもとに伝達式・祝賀会



を開催した。特に、秋季善行表彰では受賞者十二名全員が明治神宮参集殿での全国表彰式に参列したほか、伝達式にも全員が参加するなど、善行表彰に関する意識の高さが示され、改めて会員とともに受賞を祝した。式では、始め島村支部長から、改めて受賞者を紹介し、その功労内容を詳しく支那からの記念品を添えて表彰状の伝達を行い、併せて日頃の善行活動への謝

辞と今後の活動への理解と支援をお願いした。その後、秋篠宮皇嗣殿下御接見者を加えた受賞者等全員から善行活動内容、及び皇嗣殿下御接見時での感想等を発表していただき、和やかな祝宴となり善行活動を更に広める等、大きな成果をあげて終了した。当日は、支部発足以来続けられていた施設慰問の恒例の餅つき大会を午前九時より開催した。この施設は、親のいない子

岩手県南支部

秋季善行表彰伝達式と合同祝賀会の開催

本部秋季善行表彰から問もない十二月十四日奥州市内ホテルにおきまして、秋季受賞者への伝達式並びに本年度春季善行章及び特別善行銀章受賞者、さらに秋篠宮皇嗣殿下のご接見者を一室に催しました。受賞者等の家族、親戚友人等関係者百三十人余が出席、来賓には地元市長、警察署長、消防長、社会福祉協議会長等のご臨席ご祝辞をはじめ、元選出の国會議員等からの祝電をいただき披露しました。また、受賞者、ご接見者からは当日の式場での様子等の紹介発表、そして受賞者の活動状況のビ



十二月十五日、元松宇土市長、西山県議會議員、柴田市議會議長、太田市教育長を来賓に迎え令和元年度秋季善行表彰伝達式を開催しました。今回は青少年指導、社会福祉、事故防止、公共生活に十年以上の貢献があった七個人、三団体が受賞されました。山下支部長は多年の善行活動に謝意を述べられ、来賓からは地道な活動が報われての善行表彰に労いと祝辞をいただき、また宇土支

部に對し善行運動を通して明るく住みよい社会づくりに向けた推進活動に御礼の言葉をいただきました。伝達式終了後、出席者五十一名で祝賀会が開催され受賞者と出席会員が懇親を深めました。

大分県大分支部

令和元年度秋季善行表彰伝達式の開催

令和元年十二月十四日(土)大分市東部公民館において、佐藤樹一郎大分市長はじめ野尻哲雄大分市議會議長、右田芳明大分市社会福祉協議会会長のご臨席の下、開かれた。本年度は十七名の受賞者を迎えて、伝達式が行われた。来賓の祝辞をいただいた。来賓



として、「春、秋」二回の伝達式にご案内をしていない子供たちが共同生活をしている。島村支部長以下四十名の会員との合同慰問活動を行った。供さん、親がいても養育放棄をされて一緒に住めない子供たちが共同生活をしている。島村支部長以下四十名の会員との合同慰問活動を行った。

福岡県福岡支部

令和元年度秋季善行表彰伝達式の開催

令和元年十二月十四日(土)午前十一時から午後一時の間、太宰府市いきいき情報センターで開催した。大槻事務局長の司会で、黙とう・国旗に礼・国歌斉唱の後、後藤清忠副支部長の開催の言葉に続き、鳥巢支部長が受賞者へのお祝いの言葉と、楠田大蔵太宰府市長、ご来賓の方々からご祝辞を賜った。鳥巢支部長から、受賞者一人ひとりに表彰状・盾・善行章・略章が手渡された後、勝野堅介日本善行会会長などの祝電が披露され、副支部長の閉会の言葉で秋季善行表彰伝



達式を滞り無く終了した。記念写真に引き続き式場において、受賞者と会員との親睦会(会食)を行い、自己紹介と個々の活動状況など説明、最後に日本善行会と福岡支部の益々の発展と、各自のご健康とご多幸を祈念して万歳三唱して、盛会裡に終了した。

善行川柳

選者 東 逸平

○円い地球 円く平和で 暮らしたや 北海道 齊藤 勉

評／《まるい》は、もう一つの《丸い》がありますね。《暮らしたや》が気になりますね。

《暮らしたや》とした方がよいのではないのでしょうか。

○武蔵御陵 勤勞奉仕 友を連れ 東京都 神鳥谷知己

評／勤勞奉仕という言葉は、もう古くなりましたね。フレッシュな表現にしたいですね。

○交通の 安全願う 子供たち 静岡県 真野 和代

評／老いていく足を労わりながら、人生の秋を眺めています。俳句ですね。

○エイヤーサ 子供神樂が 村おこす 大分県 佐藤 満洋

評／良いですね。映像が生き生きと浮かんできます。明日を担う子供達の勇ましいどよめきが聞こえてきます。今月の秀作です。

入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- ①普通会員(正会員)
 - 個人 年額 五千元
 - 法人 年額 一万元
 - ②特別会員(正会員)
 - 個人 年額 一万元
 - 法人 年額 三万円
 - ③賛助会員
 - 個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間購読料五百円含む